

平成28年(2016年) 2月8日
 長野県公共事業再評価委員会
 担当：建設部 建設政策課 技術管理室
 (室長)田下昌志、(担当)長谷川哲郎
 電話：026-235-7294(直通)
 026-232-0111(代表) 内線3328
 FAX：026-235-7482
 E-mail: gijukan@pref.nagano.lg.jp

平成 27 年度 公共事業評価について

平成 27 年度 公共事業再評価の対応方針について

平成 27 年度公共事業再評価の対象となった4事業について、対応方針を以下のとおりとします。

1 長野県公共事業評価監視委員会の意見

公共事業評価監視委員会（委員長：松岡保正氏）に意見を求めた4事業に関して、同委員会から県の再評価案を「妥当」とする意見の具申がありました。

経緯等 平成27年 7月23日
 平成27年 8月26日
 ~12月16日
 平成28年 1月14日

第1回長野県公共事業再評価委員会(再評価案作成)
 公共事業評価監視委員会(審議4回、現地調査1回)
 公共事業評価監視委員会から意見具申

2 県の対応方針

公共事業再評価対象事業に対する県の対応方針は、公共事業評価監視委員会の意見を踏まえ、下記のとおりとします。

平成 27 年度 公共事業再評価対象事業一覧及び対応方針

分野	再評価理由	事業名	路河川名等	箇所名 (市町村名)	採択年度	現行計画		県の再評価案		評価監視委員会意見	県の対応方針
						総事業費 (百万円)	H27末 事業 進捗率 (%)	方針	コスト 縮減額 (百万円)		
河川	再評価	防災・安全 交付金事業	一級河川 砥川	赤砂 (下諏訪町)	H18	3,570	72.5%	(見直して) 継続	30	県案 どおり	(見直して) 継続
	再評価	防災・安全 交付金事業	一級河川 金原川	海善寺北～本海野 (東御市)	H18	2,900	50.7%	継続	-	県案 どおり	継続
	再々評価	防災・安全 交付金事業	一級河川 求女川	田中 (東御市)	H3	1,570	82.8%	継続	-	県案 どおり	継続
住宅	再々評価	県営住宅 建替事業	県営住宅 アルプス団地	(安曇野市)	H13	2,620	26.7%	継続	-	県案 どおり	継続
合計				4件		10,660			30		

平成 28 年(2016 年)2 月 8 日
 担当：総務部 行政改革課
 (課長)井出英治
 (担当)青木能健、桐山准、上田岳義
 電話：026-235-7029(直通)
 FAX：026-235-7030
 e-mail：gyokaku@pref.nagano.lg.jp

平成 27 年度 公共事業の新規評価の第三者評価結果について

公共事業の一層の効率化、重点化を図るとともに、その実施過程の透明性を高めるため、新規評価において、長野県公共事業評価監視委員会による第三者評価を実施しました。

1. 評価対象事業箇所

評価対象は、総事業費 10 億円以上から 6 事業、総事業費 10 億円未満から、これまでに意見聴取をしていない事業種類から 1 事業の合計 7 事業としました。

2. 新規評価の審議結果

県が新規評価を実施した 7 箇所を審議(うち 3 事業を抽出し詳細な審議)、県の新規評価案は妥当と判断されました。

平成 27 年度 公共事業新規評価実施箇所一覧

事業名	箇所名 【市町村名】	主な事業内容	総事業費 (百万円)	工期
道路改築	(国)153 号 飯田北改良【飯田市】	道路築造工 L=2,500m W=14.0(25.5)m	13,000	H28~H39
	(国)151 号 新野拡幅【阿南町】	道路築造工 L=2,190m W=6.0(8.0~12.0)m	1,000	H28~H36
	(主)中津川田立線 田立【南木曾町】	道路築造工 L=860m W=5.5(9.25)m	1,000	H28~H36
	(主)飯島飯田線・(一)上飯田線 座光寺 SIC~長野県駅(仮)【飯田市】	道路築造工 L=2,970m W=6.5(11.0)m	13,000	H28~H39
	(一)上松南木曾線 読書ダム~戸場【大桑村~南木曾町】	道路築造工 L=3,600m W=6.0(8.0)m	6,600	H28~H37
県営かんがい 排水	菅平【上田市】	ゲート類更新 1 式 小水力発電整備 1 式	2,000	H28~H32
急傾斜地 崩壊対策等	久保【北相木村】	法面工 L=200m	300	H28~H31

(注) 着色：抽出箇所

3. 公共事業評価監視委員会からの主な意見

(1) 道路改築 (主)飯島飯田線(一)上飯田線 座光寺 SIC~長野県駅(仮)【飯田市】

- リニア中央新幹線の長野県駅と中央道を接続し、大都市圏との時間短縮効果を県内に広く波及させる重要路線であることから、整備が必要である。

↓ 計画路線と周辺状況



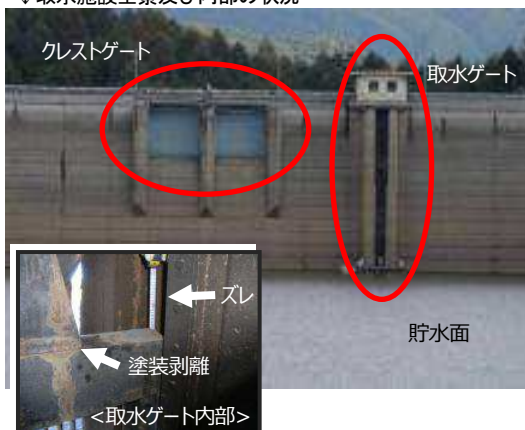
(2) 県営かんがい排水 菅平【上田市】

- かんがい用水の確保など、多目的ダムとして重要な施設で、水門、電気設備及び水管理設備等が耐用年数を超過しているため、早期の更新が必要である。

↓ 建設から 46 年が経過した菅平ダムの全景



↓ 取水施設全景及び内部の状況



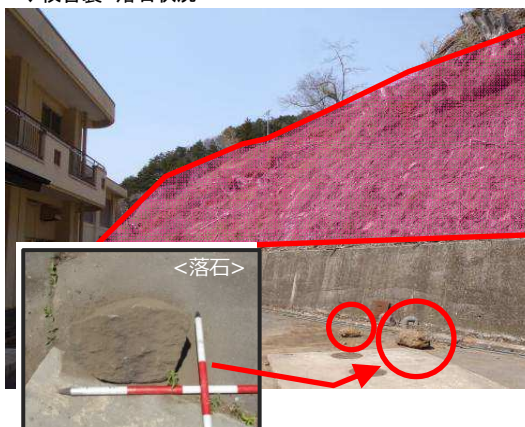
(3) 急傾斜地崩壊対策等 久保【北相木村】

- 北相木小学校に面した斜面の風化が進行しており、崩壊の危険性が高まっていることから、早期の対策が必要である。

↓ 北相木小学校と対象斜面



↓ 校舎裏 落石状況



平成 28 年(2016 年)2 月 8 日
 担当: 総務部 行政改革課
 (課長)井出英治
 (担当)青木能健、桐山准、上田岳義
 電話: 026-235-7029(直通)
 FAX: 026-235-7030
 e-mail: gyokaku@pref.nagano.lg.jp

平成 27 年度 公共事業の事後評価結果について

公共事業について、事業完了後一定期間を経過した箇所の事業効果の発現状況や施設の維持管理状況などを検証する事後評価を行いました。長野県公共事業評価監視委員会による第三者評価結果は次のとおりです。

評価結果は、今後の事業の計画・調査・実施の検討などに活用していきます。

1. 評価対象事業箇所

評価対象は、県が実施した公共事業で、事業完了後一定期間(5年を基本)を経過した箇所から、地すべり対策、治山・砂防、道路の整備、農業基盤整備など事業種類ごとに事業費の大きい箇所などを抽出して実施しました。

2. 事後評価の審議結果

県が事後評価を実施した12箇所を審議(うち3事業を詳細な審議対象として意見徴取)、県の自己評価は妥当と判断されました。

平成 27 年度 公共事業事後評価実施箇所一覧

事業名	箇所名 (市町村名)	主な事業内容	総事業費 (百万円)	工期
地すべり防止	大平(小谷村)	山腹工 A=24.60ha 集水井 8 基ほか	1,064	H11~H21
急傾斜地崩壊対策等	近所(上松町)	擁壁工 L=374m 法面工 A=1,504m ²	391	H16~H21
県営ため池等整備	滝の沢(富士見町)	ため池改修 1 箇所	82	H18~H21
山地治山	辛沢(須坂市)	流路工 L=366m 森林整備 1.64ha	127	H17~H21
水源地域等保安林整備	太郎山(上田市)	山腹工 A=0.75ha、土留工 10 個ほか	129	H19~H21
広域河川改修	(一)農具川 白塩(大町市)	護岸工 L=1,400m	1,882	S63~H21
道路改築	(主)松川インター大鹿線 滝沢(中川村~大鹿村)	道路改築工 L=1,260m W=6.0(8.0)m	2,213	H18~H21
街路	(都)仲町通線外 2 線 茅野市 永明(茅野市)	道路築造工 L=1,048m W=12.0~17.0m	5,635	H12~H23
雪寒対策道路	(国)148 号 白馬駅前 (白馬村)	無散水消雪施設更新工 L=615m W=6.0(16.0)m	370	H20~H23
交通安全施設等整備	(国)403 号 東江部 (中野市)	歩道設置工 L=1,100m W=2.5m	570	H15~H23
県営かんがい排水	三水(飯綱町)	用水路工 L=11,290m	1,673	H11~H21
県営中山間総合整備	菜の花 2 期(飯山市、中野市 (豊田村)、木島平村)	農業用排水路工 L=14,299m 農道工 L=11,616m ほか	1,845	H11~H21

(注) 着色: 抽出箇所

3. 公共事業評価監視委員会からの主な意見

(1)地すべり防止 大平(小谷村)

- 事業着手時からの情勢変化に伴い、全体事業の見直しを行った良い例である。惰性で事業を進めることなく、時間経過による地元要望の変化などを考慮し、事業完了の判断をしたことは他事業にも反映していただきたい。

↓地すべりによる村道の被害状況



亀裂⑥

↓地すべり抑制工(地下水除去)



↓地すべり地の空中写真



完了後

(2)広域河川改修 (一)農具川 白塩(大町市)

- 地域の人たちと協働による維持管理及び河川の活用が進められた良い例である。河川整備の一つの事例として、今後生かすことが必要である。

↓過去の出水状況



①出水状況(平成7年7月)

大町合庁

下花見橋

↓親水護岸として小学生などのふれあいの場となっている



完了後

(3)交通安全施設等整備 (国)403号 東江部(中野市)

- 事故減少の数字などが見える良い例である。整備効果のわかる写真や整備効果を示したグラフを活用し、わかりやすい評価シートの作成に努めること。

↓歩道整備前(歩道が途切れていたので危険な状態)



歩道が途切れており、車道の路肩を歩く小学生たち

至 中野市街地

既設歩道

完了後

↓歩道整備により安全確保され、事故も減っている

歩道整備により、安全に通学する小学生たち



至 中野市街地